



12
Dec. 2024
No.833

笑う門には豊作来る



12月号の主な掲載記事

- ☑秋の山唄全国大会フォトレポート P. 2
- ☑令和6年の金のいぶきをレポート P. 4
- ☑年末年始の業務カレンダー P. 12



表彰式後、宵闇に包まれる笠峯寺で、優勝した滝口さんが秋の山唄を奉納しました。奉納後には、温かいなめこ汁が、コロナ禍以降初めて、笠峯寺の寺庭婦人の皆さんによってふるまわれました。

入賞しました。表彰式後、宵闇に包まれる笠峯寺で、優勝した滝口さんが秋の山唄を奉納しました。奉納後には、温かいなめこ汁が、コロナ禍以降初めて、笠峯寺の寺庭婦人の皆さんによってふるまわれました。

出場4回目にして輝いた笠峯寺杯の栄冠
11月10日(日)に、涌谷町勤労福祉センターで第40回秋の山唄全国大会を開催しました。今大会には、北は岩手県、南は佐賀県から、寿年の部に41人、少年少女の部に2人、一般の部に64人がエントリーしました。

寿年の部では、仙台市太白区の阿部信治さんが、少年少女の部では、山形県東根市の鈴木こはくさんがそれぞれ優勝しました。一般の部では、今回で4回

40 回目の節目

秋の山唄 全国大会



〔民謡 秋の山唄〕
 へハア 奥州涌谷の箕岳さまは
 山子繁昌やまこはんじやうの守り神
 へハア 山に木の敷 野に萱かやの敷
 黄金田んぼは はせの敷
 へハア 気になる気になる
 お山の狐
 これほど待つのに
 なせこんど鳴く



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

また、前大会優勝者の市川元美もとみさんをはじめ、前立ち酒全国大会優勝者で第39回秋の山唄全国大会準優勝者の佐藤美玖みづさん、涌谷町と友好交流協定を締結している山形県大石田町の大石田町民謡研究会、東京オリンピック閉会式に出演した津軽三味線奏者の松田隆行たかゆきさんがゲスト出演し、40回目の節目の大会に花を添えました。

《写真解説》

① 笠峯寺での優勝者のみに許された秋の山唄の奉納
 ② 優勝した滝口里奈さん
 ③ 準優勝の櫻井由香さん
 ④ 第3位の阪田瑤子さん
 ⑤ 少年少女の部優勝の鈴木こはくさん
 ⑥ 寿年の部優勝の阿部信治さん
 ⑦ 佐藤美玖さんによる民謡お立ち酒の披露
 ⑧ 松田隆行さんによる津軽三味線の超絶技巧
 ⑨ 前回優勝者の市川元美さんによる優勝旗の返還
 ⑩ なめこ汁によるおもてなし
 ⑫ 第40回の節目の大会を大石田町民謡研究会の皆さんが山形大黒舞で祝う

金のいぶき

かがやきを取り戻せるか

前例のない酷暑により大不作となった令和5年を乗り越え、収穫量・品質を取り戻した令和6年の秋。一方で、他の品種と異なり、金のいぶきのみが昨年と同水準の買取価格となり、苦難続きとなった1年をレポートします。



種をまき、田植えをし
収穫した現代の金を奉納
令和6年4月に、箕岳白山小学校で金のいぶきの栽培が始まりました。昨年に続き、5年生児童が、生産者の指導を受けながら、自ら種をまき、成長した苗を田んぼに植えつけ、収穫の秋には、泥にまみれながら、川底に眠る砂金を探し出すかのように、稲刈りに携わりました。

収穫した金のいぶきは、11月3日(日)に、奈良市で開催された平城京天平行列東大寺参詣に合わせて東大寺大仏殿に奉納。さらびやかな天平衣装をまとった聖武天皇と光明皇后を中心とした行列が東大寺を目指して、コロナ禍を経て観光客が復活した秋の古都・奈良を練り歩きました。奉納には、栽培に携わった児童から代表で大平夏音さんと後藤佳撫さんが参加したほか、遠藤釈雄町長と金のいぶきの生産者の及川雄輝さん、土生木誠さんが参列しました。



また、奉納に際し、橋村公英^{きょうむら}・東大寺別当をはじめとした式部^{しきぶ}衆の皆さんによって、大仏殿内で法要が執り行われ、日本初の産金地・涌谷町と現代の金のいぶきをPRする機会となりました。

高温に適應する栽培

今年の夏も、品質を大きく低下させた穂発芽をまねいた昨年と同様に酷暑となりました。

涌谷町では、穂発芽の発生を避けるため、収穫時期を前倒しし、すべての米が上位等級となりました。

一方で、ひとめぼれをはじめとした主食用米の米価が軒並み上昇する中、金のいぶきは横ばいとなりました。

栄養素が豊富な高付加価値米を栽培するためには、資材や手間がより多くかかります。

金のいぶきが、日本初の産金地の現代の金としての輝きを取り戻すため、新たな販路開拓などが急務となっています。



多年にわたる各分野における功績をたたえて
令和6年秋の叙勲・宮城県文化の日表彰を受章・受賞されました



畑岡 永耕 さん
 (元涌谷町消防団分団長)

令和6年秋の叙勲

消防功勞
すいぼうたんこうしよつ
 瑞宝単光章

元涌谷町消防団分団長として、多年にわたり消防体制の確立と消防の発展に多大な貢献をしてきた功績により受章。



杉浦 謙一 さん
 (現涌谷町議会議員)

宮城県文化の日表彰
 地方自治功勞

現涌谷町議会議員として、多年にわたる議員活動を通じて地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力してきた功績により受賞。



勝又 ふみ さん
 (民生・児童委員)

宮城県文化の日表彰
 民生安定功勞

涌谷町民生・児童委員として、多年にわたり県民福祉の向上に努め民生の安定に寄与してきた功績により受賞。



高橋 均 さん
 (涌谷町消防団分団長)

宮城県文化の日表彰
 消防防災功勞

涌谷町消防団分団長として、多年にわたり部下の統率と消防精神の涵養に努めるとともに災害の予防防衛に尽力し地域社会の安全に寄与してきた功績により受賞。

※上記は、受章（賞）者の意向確認の結果、掲載しています。



多年にわたり食生活改善事業に尽力された功績
佐々木富貴代さんに厚生労働大臣表彰

10月22日(火)に、涌谷町健康推進員協議会会長の佐々木富貴代さんが、多年にわたり食生活改善事業の発展向上に尽力された功績がたたえられ、厚生労働大臣表彰(食生活改善事業功勞者表彰)を受賞されました。

佐々木さんは、健康推進員として平成3年4月に就任して以来、涌谷町健康推進員協議会理事や副会長を経て、平成21年から現在まで会長を務め、永きにわたって町民の食生活改善に尽力されてきました。



これからもお元気で
満百歳おめでとうございます

10月4日(金)に、高橋ひで子さんが百歳の誕生日を迎えました。

満百歳をお祝いするとともに、敬老祝い金と祝詞を贈呈しました。家族や施設のスタッフに囲まれ、笑顔を浮かべてとてもうれしそうでした。色鉛筆で塗り絵をするのが趣味で、部屋に飾られた作品はどれも素敵でした。

どうぞこれからもお体に気をつけて、ますます長寿でありますよう、お祈りいたします。



涌谷の「芸術の秋」の代名詞

第48回町民文化祭が開催されました

11月2日(土)と3日(日)の2日間、涌谷公民館で第48回町民文化祭が開催されました。

会場には、涌谷町内の文化芸術団体や個人が制作した作品をはじめ、町立小学校と涌谷高校の児童生徒の絵画や書道作品が展示されました。ステージ発表では日本舞踊やお茶屋節踊り、安来節踊りなどの伝統芸能のほか、コーラスやダンス、楽器演奏などのサークル活動の成果が披露されました。



涌谷高校美術部が大活躍

宮城県防犯ポスターコンクールで入賞

10月11日から10月20日までの期間に実施される全国地域安全運動に合わせて毎年行われている宮城県防犯ポスターコンクールにおいて、涌谷高校美術部1年生の千葉真那果さんが最優秀賞となり、同じく1年生の丹野勇輝さんが優秀賞を受賞しました。

最優秀賞の千葉さんの作品は、若者に万引きに手を染めないよう、呼び掛ける作品で、全国地域安全運動のポスターとして採用され、宮城県内各地に掲示されました。



武家屋敷と秋の紅葉を楽しむ

町指定文化財・佐々木家屋敷を公開

11月9日(土)から17日(日)まで、町指定文化財の佐々木家屋敷が一般公開され、来場者は涌谷藩志会のガイドと共に深まる秋を楽しみました。

期間中は、遠田研修館・涌谷支部月将館居合道による居合道演武の実演や、日本遺産「みちのくGOLD」浪漫にかかわる協力団体・個人による軽食や雑貨、花き類の販売や流木アート作品の展示のほか、涌谷高校書道部の書道作品を展示。週末には、1日で約400人もの来場を集めました。



地域における共助の担い手として

防災教育居住地学習を実施しました

10月8日(火)に、涌谷中学校の1・3年生を対象に、自分が住む地域の防災について学ぶ防災教育居住地学習が各行政区で実施されました。

新丁頭ふれあいセンターでは、1区、2の1区、2の2区、2の3区が合同で開催。会場付近の堤防まで移動し、過去に発生した水害や地震災害について学んだほか、防災資機材・防災無線の機能や、竹竿と毛布を用いた担架の作り方など、災害時に役立つ知識を身に付けました。